※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題を様々な事例やDVD視聴等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。他者の意見を聞き、多様な考え方を学び、自分の考えに繋げましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

○生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住などに関する、生活を主体的に営むための基礎的な知識を習得するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出してそれぞれのライフスタイルに合わせた課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	住生活をつくる	○住生活をみつめよう ・なぜ住まうのか ・住生活の成り立ちと住文化 ・現代の住生活 ○健康で安全な住生活を作ろう ・住まいと健康 ・住まいと安全 ＊紙教材紙ぶるるを使った耐震実験 ・住まいの管理 ○家族の生活と住空間を考えよう ・家族と住空間 ・住空間の計画 ○これからの生活を考えよう ・環境に配慮した住まい方 ・これからの住生活	a: 住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識と安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・提出作品	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・授業観察 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答

※令和４年度以降入学生用

2学期	衣生活をつくる	○被服の役割を考えよう ・高校生と衣生活 ・着るとは ・被服の機能 ○被服を入手しよう ・被服の入手 ・被服の表示と材料 ・被服材料の性能 ○被服を管理しよう ・被服の手入れ ・洗剤と漂白剤の働き ・仕上げ、保管 ○被服を作ろう ・被服製作の工程 ＊エプロン・三角巾・巾着袋の製作 ○衣生活の文化と知恵 ・生活文化と被服 ・繰り回しの知恵 ・世界の民族衣装 ○これからの衣生活 ・被服の生産と消費 ・被服の再資源化 ・環境に配慮した衣生活	a:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を営むために必要な知識と被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:被服管理と着装、健康で快適な衣生活を主体的に営むために、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・被服実習のワークシート ・提出作品	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・授業観察 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答

※令和４年度以降入学生用

3学期	食生活をつくる	○食生活の課題について考えよう ・成年期の食生活の課題 ・「食べる」とは ・食生活の課題と変化 ○食事と栄養・食品 ・栄養と栄養素 ○食品の選択と安全 ・食品の選択 ・食品の保存と加工 ・食品の衛生と安全 ○生涯の健康を見通した食事計画 ・栄養バランスのよい食事 ・食事計画 ○調理の基礎 ・調理法や味付け ・食事の場面を考えた調理 ＊調理実習 ○食生活の文化と知恵 ・日本と世界の食文化 ○これからの食生活 ・食料生産と食料問題 ・食の安全性の確保 ・食をめぐる問題とその対策 ・持続可能な食生活を営む力	a: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を営むために必要な知識を身に付けている。 生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・調理実習のワークシート	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。